

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 322

2020年5月15日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

緊急署名(5/14現在)

宮城県内9条の会連絡会：2,625筆 他団体：995筆

合計 緊急署名推進センターの集約：3,620筆

署名を集約団体の「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」に第一次集約分として送付しました。住所、名字に「同上」や「〃」が見かけられました。

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。(「憲法共同センター」よりの連絡 再)

なお、17年9月より取り組んでおりました3000万人署名は3月11日に国会に提出しました。昨年6月提出時集計の948万筆から44万筆増加して9,923,550筆になりました。

安倍改憲NO！

改憲発議STOP緊急署名の着払い署名ハガキ付きチラシあります。各九条の会でチラシ希望のところは必要枚数を事務局に申し込んでください。

お申込みいただいたところに宅配便でお送りします。

電話 022-728-8812

メール：info@9jou.jp



5月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

●仙台市

5月19日（火）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前

●石巻市(今月は中止します)

●涌谷町

5月19日（火）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点

(19日が土日に当たる場合は第3月曜日)

●小牛田(当面の間中止します)

●気仙沼市

5月19日（火）16:00～17:00 場所：ホームック前

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：5月19日、26日は実施します。なお、新しいプラスターでスタンディング、市民に訴えます。6月は2、9、16、23、30日予定

6月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。

●名取市 ヤマザワ前道路交差点

●涌谷町 涌谷公民館前交差点

●宮城野区 坂下交差点

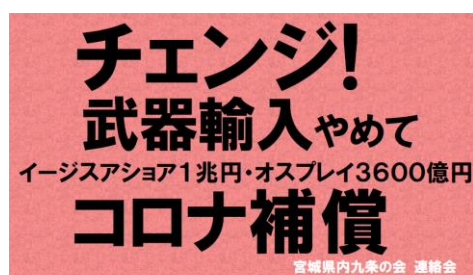
【活動報告・情報】

宮城県内9条の会連絡会運営委員会・幹事会

第2回目のWEB会議を開催

九条の会連絡会は5月22日、前月に引き続き運営委員会のWeb会議を開催しました。新型コロナ拡大に留意して毎週火曜日定例の仙台市東二番町平和ビル前での街頭宣伝をこの間中止しておりましたが、19日(火)のスタンディングより再開することとし、新しいプラスターを作成して掲示することとしました。

5枚組で以下の訴えとデザインで当面10組作成します。希望の九条の会は事務局に申し込んでください。字句は多少変更します。価格、お渡し方法は別途相談。



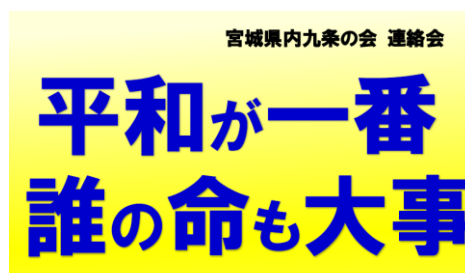
安倍9条改憲 NO!



安倍9条改憲 NO!



安倍9条改憲 NO!



安倍9条改憲 NO!



安倍9条改憲 NO!

安倍内閣退陣まで続けます

毎月3日の「アベ政治を許さない」スタンディング

ゴールデンウィーク中の5月3日(日)、仙台市の宮城野区原町三丁目坂下交差点で、男性5人、女性2人の7人が参加して「アベ政治を許さない」「コロナ対策にもっと予算を」「憲法九条を変えるな」などのプラスターを掲げて、スタンディングアピールを行いました。この日は普段よりは走行する車両は少なめでしたが、窓越しに手を振っていく方やクラクションを鳴らしていくドライバーの方など激励がありました。

この行動は、澤地久枝さん方が「アベ政治を許さない」のスタンディングアピールを再開した2016年11月3日の日本国憲法公布70周年の日から、仙台市宮城野区の赤間政子、鹿島進、小林俊道、斎藤文男、里見一栄、高橋正利、高橋悦子、竹内幸雄、角田秀子が呼びかけて、全国に呼応し毎月3日午後1時に実施してきています。

新型コロナ問題での緊急事態を口実に安倍政権が持ち出そうとしている憲法改悪を絶対に許さないために、安倍内閣退陣を求めて引き続きとりくみます。

名取九条の会の活動報告

事務局 後藤不二夫

名取九条の会は連休中の5月3日、予定したスタンディングを行いました。8名参加、安倍政権による新型コロナウイルス感染拡大を利用した緊急事態条項改憲の火事場泥棒的策動を許さないことを、道行く車に呼びかけました。写真では6名、1名はカメラマン、もう一人は移動できず撮影範囲外にいました。また、「名取九条の会ニュースNO66」を発行して「新型コロナ禍の中改憲に執念 異常な安倍首相」と会員の皆さんに訴えています。

(20年5月3日通信)





【2020.5 名取九条の会】 **憲法9条は日本の宝**

名取九条の会ニュース NO66

名取九条の会（事務局 阿部 022-384-0888）

新型コロナ禍の中 改憲に執念 異常な安倍首相

5月3日憲法記念日、安倍首相は改憲派ウェブ集會にメッセージ。2020年内の改憲施行ができないとしながら、「改憲の決意に揺らぎは全くない」と憲法改正への執念をみせました。

新型コロナウイルス対策で日本中が何とかして乗り越えようとしている最中に、憲法99条の国務大臣等の憲法擁護尊重義務に違反し改憲を唱える異常さです。そこには、国民の命と暮らしがどんな天秤にかけても一番重いという考えはありません。自らの野望を何としてやりとげようとする執念が先に立っています。

解釈変更なし崩し危惧 首相ら「緊急事態条項」新設主導 閣議決定で「骨抜き」も

これは、5月4日の河北新報2面(政治欄)に載った見出しです。2014.7の集団的自衛権行使容認の閣議決定、翌2015.9の安保関連法強行に見られる解釈変更に対する危惧です。記事では、東京高検検事長の定年延長で「法解釈を変更した」とする強硬姿勢や中東への自衛隊派兵が閣議だけで国会に諮らず決められたことへの政治評論家の問題意識などが掲載されています。

マスコミが危惧する首相の姿勢。新型コロナ問題を奇貨として緊急事態条項を憲法に位置づけようとする危険な策動。記事では、首相発言に対して木村草太氏が「火事場泥棒的で適切でない」と問題視したとも載っていました。権力に対するマスコミによる監視は重要と感じました。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

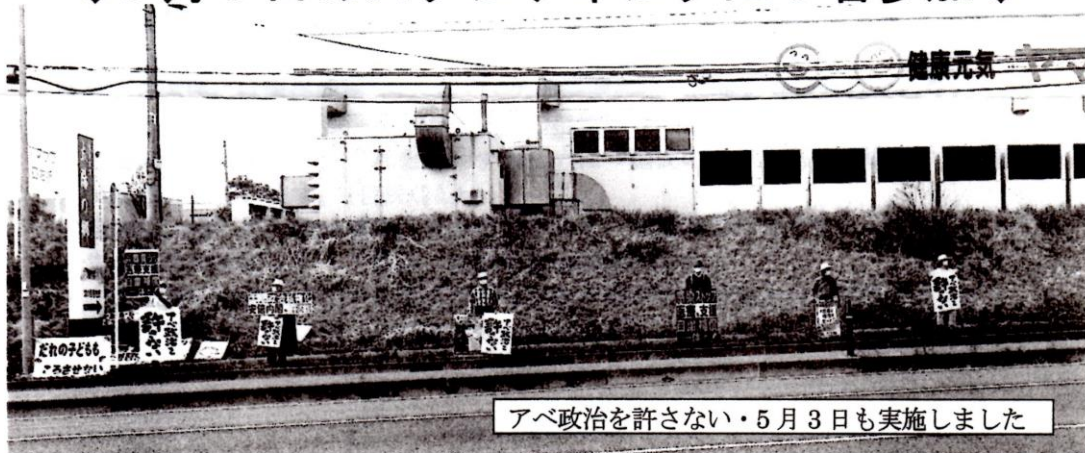
コロナ危機は憲法の理念で打開へ

新型コロナウイルスの感染拡大を抑え込み、すべての市民の生活と事業者の経営を守り抜くためには憲法の理念を徹底して生かすことが必要ではないでしょうか。国民は憲法に自衛隊を書き込む明文改憲による「戦争できる国」を望んではいません。4月末の共同通信世論調査では安倍政権下での改憲反対が58%を占めました。

軍事費よりコロナ対策最優先。憲法25条の生存権。憲法29条に基づく休業要請への補償など、憲法を真に生かす政治こそが必要です。

九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。九条を守り生かそう。

◇5月3日のスタンディングに8名参加◇



仙南九条の会連絡会がニュースを発行しましたので紹介します。

仙南9条の会連絡会 情報紙 創刊号

声

仙南9条の会連絡会
代表 鈴木詔一
連絡先: 担当丸山
TEL (080-8203-7447)
2020年5月10日 発行

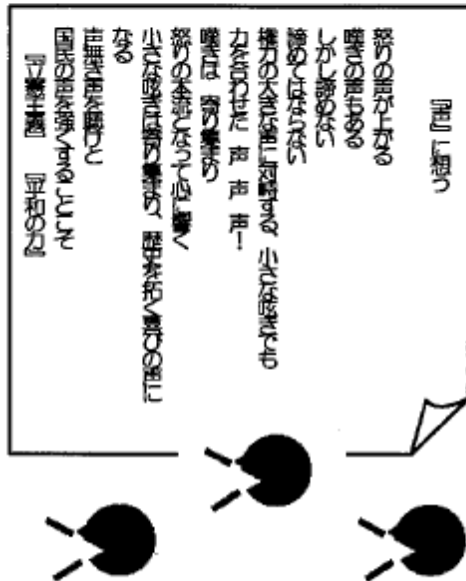
戦争のない平和な日本を

あらゆる運動を粘り強く

2017年5月3日、安倍首相は突然、「憲法9条に自衛隊を明記する」、「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。再び「戦争する国」へと戦後75年間に対する180度の転換です。私たちはこの安倍首相の悪質な暴走を許すわけにはいきません。そもそも、安倍首相に憲法を護る資格そのものがありません。憲法遵守の義務があるのに平気で憲法を破壊していく安倍首相の発言など言語道断です。安倍自公政権はモリカケ問題から桜を観る会まで、ウソ・ゴマカシ・公文書の偽造など国民を欺き民主主義と立憲主義を破壊する政治をいまだに続けています。このような政権に日本の未来を託すことなど到底できません。

平和な日本、未来ある日本を次の世代に引き継ぐため、私たちは多くの市民とともに、安倍自公政権の一日も早い退陣と、そしてそれに替わる民主的な野党連合政権の誕生をめざし、あらゆる運動を、粘り強く、最後まで諦めず、希望をもって活動していく決意です。

<連絡会代表 鈴木 詔一>



仙南九条の会連絡会の歩み

(1) 仙南全域に「九条の会」を立ち上げることを決意

安倍内閣(第一次2006.9)は、「戦後レジームの脱却」を唱えて「憲法改悪」を柱に戦後の民主主義を根こそぎ覆そうとする政策を打ち出してきました。このとき、安倍内閣に真っ向から立ち向かい、日本の平和と民主主義を守ろうと知識人が先頭に立ち正義と良心に燃え、平和を守る声を上げました。それが「九条の会」でした。その呼びかけによって、私たちが平和と民主主義を守る運動として、それぞれの地域で「九条の会」を立ち上げました。その結果、安倍内閣は一年足らずで失脚しました。このとき(2006年)仙南では、角田市、白石市、柴田町、大河原町で「九条の会」が結成され、講演会・学習会・宣伝行動など多様な活動が展開されました。それぞれの地域で単独におこったり、共同で行うものもありました。

そして、宮城県各地にも取り組みが発展していききました。仙南地域で「九条の会」を広げる声が強まり、近隣の地域に呼びかけました。私たちは、議会制民主主義や立憲政治をも蔑ろにするアベ政治をこれ以上許しておけないと、取り組みを一層強める決意を固め、仙南地域挙っての決起集会を持つことと仙南全域に「九条の会」を立ち上げることを決意しました。2015、4.4 えずこ大ホールで大決起集会を成功させるよとともに、仙南地区全市町(2市7町自治体)に「九条の会」を結成しました。

<柴田町九条の会 代表 畑井 馨>

全国首長の会がニュース 4号を発行しましたので紹介します。

全国首長九条の会ニュース

2020年5月3日 第4号 祝憲法記念日 ●発行責任者：事務局長 鹿野文永

●連絡先：〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル 303 九条の会気付 ☎03-3221-5075
fax03-3221-5076 メール：sppn3av9@hyper.ocn.ne.jp 口座番号 00190-4-635731 (全国首長九条の会)

自民党、連休明けに衆院憲法審査会開催ねらう！！

コロナ感染拡大の中、自民党の新藤義孝と党筆頭幹事は4月23日、与野党幹事懇談会の開催を野党に呼びかけ、野党はコロナ感染拡大防止が最優先として応じていません。自民党内には「大型連休後に野党抜きで開催すべきだ」との強硬意見もあり、予断を許さない状況です。

4月21日、元神奈川県平塚市長の大蔵律子さんが地元九条の会の働きかけもあり呼びかけ人になってくださり、呼びかけ人・会員は131人となりました。また会費も53人の方々から納入いただくとともに、お二人から多額の募金もいただいております。

今号は共同代表の元高知県四万十市長の田中全さん、現職の滋賀県日野町長の藤澤直広さんと鹿児島県曾於市長の五位塚剛さん、そして元新潟県魚沼市長の大平悦子さんの投稿です。

非戦の原点

元高知県四万十市長

田中全

わが地元の先輩幸徳秋水は日露戦争に反対し非戦論を唱えた。(平民新聞)

吾人は飽まで戦争を否認す
之を道徳に見て恐る可きの罪惡也
之を政治に見て恐る可きの害毒也
之を經濟に見て恐る可きの損失也
社會の正義は之が爲めに破壊され
萬人の利益は之が爲めに蹂躪せらる
吾人は飽まで戦争を否認し
之が防止を絶叫せざる可らず

秋水は人間の自由・平等・博愛を掲げたたかっただが、明治国家による思想弾圧(大逆事件)で抹殺された。「百年のち誰か私に代わって言ってくれる者があるであろう」の言葉を残して。

その百年後の2011年、私は市長であったことから、四万十市をあげて幸徳秋水刑死百周年記念事業に取り組んだ。市長退任後も幸徳秋水を顕彰する会事務局長を務めている。

秋水たちが命をかけたたたかいは、戦後日本国憲法として結実した。永久平和、戦争放棄の九条は非戦の原点である。しかし、いま再び国家権力



が牙をむき出し、九条を亡きものにしようとしている。

私は非戦の原点を守るために「絶叫」を続ける。

宣誓書

滋賀県日野町長

藤澤直広

今年の桜は、暖冬のためか早咲きでした。恒例の入学式や入園式が満開の桜のもとで行われました。いつもと違うのは、新型コロナウイルスの感染の広がりのため規模が縮小されたことです。

日野町役場でも新規採用職員の辞令交付式を行いました。希望に胸を膨らませ、緊張気味の皆さんに辞令を交付しました。役場職員となるためには、宣誓書に署名しなければなりません。宣誓書の文面は「私は、ここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、且つ擁護する事を固く誓います。私は、地方自治の本旨を体するとともに公務を民主的且つ能率的に運営すべき責務を深く自覚し全体の奉仕者として誠実且つ公正に職務を執行する事を固く誓います。」です。宣誓書を提出した職員に対し、憲法15条2項にいう「公務員は全

